

第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2017年5月13日(土)～14日(日)

@サンポートホール高松、高松シンボルタワー、JRホテルクレメント高松

プレコングレスワークショップ7	
企画名	内科救急診療のロジックを用いた診断推論カンファレンス
日時	2017年5月12日(金) 13:20～14:50
会場	第4会場 (サンポートホール高松 ホール棟 6F 61会議室)
企画責任者	吉野 俊平 (飯塚病院総合診療科)
定員	36名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】 症例カンファレンスという方法を用いて内科救急診療のロジックを説明し、救急車診療における上手く情報を集める技術(=「体の動かし方」と情報)と情報を上手く整理して使う技術(=「頭の動かし方」)を提供する</p> <p>【概要】 救急車診療を苦手だと感じている人が経験値の影響を受けずにどのような症例にでも対応できるような方法はあるのだろうか?ここでは診療行為を行動と思考に切り分け、それぞれを段階的な手順に従って行う診療スタイル(内科救急診療のロジック)を提案する。行動編では救急搬送依頼から検査提出・処置までの工程を5つのステージに分け、各々でやることを明確化した。思考編では行動編で説明したアクションを行いながら、同時進行でプロブレムリストを用いて目の前の患者に今起こっていることを評価する一定の方法論を提示する。ワークショップでは症例カンファレンスという方法を用いて内科救急診療のロジックを説明し、救急車診療における上手く情報を集める技術(=「体の動かし方」と情報)と情報を上手く整理して使う技術(=「頭の動かし方」)を提供する。</p>	